森ゆみ子 ニュースレター

北九州市議会議員・ハートフル北九州

Yumiko Mori Newsletter

vol.05

2023.1

▲笑顔の素敵なつもり洋介さん

新しい年が始まりました。今年も新しい年を迎えられたことに感謝をしております。皆様にとりましてもこの一年が素敵なお年でありますよう祈っております。（年賀状の発送は公職選挙法で禁止されております。ご無礼をいたします事、何卒お許し下さい。）

さて、わがまち北九州も大切な政治決戦を1月の末と4月に迎えます。私はわがまち北九州の事は「つもり洋介」さんと共に、福岡県との事は「田中まさおみ」さんと共に考えたいと思っております。「つもり洋介」さんは北九州市生まれの47歳。国土交通省を退職して、わがまち北九州を「くらし満足度　日本一」へと目指して活動中です。やりたい事や、やらなくてはならない事がたくさんあると目を輝かせながら話す好青年であります。見かけは真面目でとっつきにくいかなと思うかもしれませんが、実はくまモンの仕掛け人だったり、楽しい話も山ほどあります。そんな「つもり洋介」さんとわがまち北九州の未来を考えたいと私は切に思っております。

わがまちの未来を考える！

福岡県ともっと仲良くしていくためには、私は「田中まさおみ」さんと福岡県との連携を考えていきたいと思っております。「田中まさおみ」さんは久留米市生まれの41歳。ほっそりとした体形からは想像もできないくらいパワフルで、青年海外協力隊でセネガルで活動をしたり、衆議院議員城井崇さんの事務所で秘書として小倉南区を担当し、皆様のお声を集め解決に向けて活動をしておりました。福岡県との連携は「田中まさおみ」さんとしたいと私は考えております。

北九州市議会議員　森　結実子

▲意外とパワフルな田中まさおみさんと

森ゆみ子事務所
〒802-0971 北九州市小倉南区守恒本町2-8-20
TEL:093-964-6069 FAX:093-964-6071

市議会ハートフル北九州
〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1　北九州市議会ハートフル北九州
TEL:093-582-2658 FAX:093-582-4867

議会報告

6月・9月・12月議会で
以下の質問をいたしました。

6月議会 (6/10～6/20) 質疑内容と答弁

1 北九州空港の物流センター誘致とアクセス向上について

九州で唯一、2024年からヤマトホールディングスの貨物便が就航することに合わせて、大規模な物流センターを誘致してはどうか?また人の流れが戻れば北九州空港をもっと利用して頂けるよう、空港へのアクセスなど利便性を向上させたほうが良いのではないか?

答弁 個別企業の施設の誘致について申し上げることは差し支えるが、大規模物流センターの誘致が実現すると、物流の効率化や最適化。新たな雇用の創出や税収の増加。さらに関連する企業の進出など非常に大きな効果が期待される。まずは全力で貨物便就航に向けた準備を支援し、円滑な就航を実現することが重要と考えている。
アクセスについては西日本鉄道株式会社がエアポートバスの自動運転の実証実験を行うなど、今後も関係機関と連携をし、空港アクセスの利便性向上に向けた取り組みを進めてまいる。

2 男性用トイレのサニタリーボックスについて

病気や高齢によって尿漏れの症状がある方が安心して外出が出来るように、男性用トイレの個室にもサニタリーボックスをまず、市の関係している施設から設置をして頂きたいと思うが、見解を伺う。

答弁 すでに本市においても一部の市民センター等で、男性用のトイレにサニタリーボックスを設置しているが、対応可能な施設から、設置を検討していきたいと考えている。

3 就学前の子どもの情緒の発達について

未就学の子どもについてはマスク着用を一律に求めないとの政府見解が発表されたが、社会性や情緒の発達の遅れなどはないのか。マスクを着用してきた間どのような弊害があったかを調査して頂きたいが、見解を伺う。また先生方には引き続きマスクの着用を求めるが、先生方の表情が読みやすいようなマスクの配布などは考えていないのか。この他にも社会性や情緒の発達の遅れに対して実施していること、または実施予定の対策があれば伺いたい。

答弁 厚生労働省が4月末に合計3,000以上の保育所から集めた声の中で、マスク着用が保育士と子どものコミュニケーションの妨げとなり、子どもが楽しくなくなるなど保育における弊害があることなどがある。本市は国の動向を注視しその見解に対して迅速に対応してまいりたい。透明マスクについては、購入に新型コロナ感染対策の補助金が使えることや、活用している保育現場の事例などについて情報提供を行っている。またマスク着用の影響に限らず、子どもの社会性や情緒の発達の遅れについては、今までも適切に対応を行ってきている。今後も適切な専門機関を紹介し、幼稚園や保育所と連携して支援していく。

9月議会（9/2～10/4）質疑内容と答弁

1 新型コロナウイルス対策について

新規陽性者のうち重症化リスクの低い方への対応について

全数把握の見直しが行われるが、重症化リスクの低い方に、ラインを使ってファーストタッチからフォローアップまで安心して療養生活が出来るようにしたら如何か。ラインとタッグを組むことによって平時も有事も市民と行政をつなぐことが出来、情報提供が早くなるのではないか。

答弁 健康フォローアップセンター設置の準備をしている。自宅療養者が安心して療養できる相談ダイヤルの拡充などを図る。患者が急増するとラインの特徴である相互方向のやり取りが難しくなるなどの問題もある。

陽性患者への食料品などの支援について

市からの支援品の要望が1日395件に上るなど、需要が多い食料品支援だが、食器を必要とするものや調理が必要なものが多く、熱が高くて食欲が落ちている時には食べられるもの・食べたいものを支援して欲しいと思うが見解を伺う。

答弁 長期期間の保存が可能なものや配達時の高温時にも対応できるものを入れている。患者によりそった対応をしているが、患者急増時には配送が滞ることもあった。今後は委託事業者とも検討をしていく。

2 モラル（道徳意識）とコンプライアンス（法令順守）について

令和4年度に入り、6月に立て続けに2件の教職員の免職処分となる事案が発生した。令和に入り明らかに、教職員や職員の処分が増えている。これは新型コロナウイルス感染拡大によるストレスを抱えているのかもしれないが、教職員や職員にどのようにモラル（道徳意識）やコンプライアンス（法令順守）の意識の醸成を行っているのか。

答弁 【教育委員会】

順法意識の希薄さから自分の身勝手な都合を優先した結果と考えている。教職員には高い倫理観が必要と考えているが、改めて考えるよう、臨時校園長会議を開いたり、県警から派遣されている安全安心担当理事からの講演を受けた。SNS等での生徒との連絡の禁止や、自家用車出勤者は出勤前のアルコールチェックをルールに加えた。

【総務局】

公務員としての自覚や高い倫理観をもつことが大切と考えている。新規採用職員研修、不祥事防止研修、ハラスメント防止研修等を行っている。毎月1回程度の事務改善会議や個別面談などを通して、日常生活も含め把握をするようにしている。事案共有できる仕組みも作っている。高い倫理観をもって市民に信頼される組織を目指す。

12月議会（12/7～12/15）質疑内容と答弁

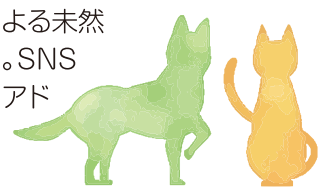
1 動物愛護センターについて

令和3年度にあり方検討会が設置されたが動物愛護センターの今後のあり方についてどのような議論がなされていたのか報告を受けたい。

①犬猫の譲渡について
②ペットとの同行避難について
③多頭飼育崩壊について

の3点を伺いたい。また現在行われている譲渡の為のSNS発信だが、動画制作や配信を専門としている業者に委託するなど、情報発信の方法を検討すべきではないか。

答弁 犬猫の譲渡に関しては、収容動物の効果的な情報発信やボランティア団体の負担軽減が必要ではないかとの意見をうけて、本年10月からSNSを活用し譲渡可能な動物の情報発信を開始した。ペットとの同行避難については動物を連れた避難者への理解や、受け入れ態勢が必要との意見を受けて、今年の9月にペット同伴者専用避難所を市内1か所に試行的に設置した。多頭飼育崩壊については飼育状況の早期の把握による未然防止が大事との意見を頂いた。SNS発信は今後はプロモーションアドバイザーなどから助言を受けたいと思う。



2 小倉南区の公共交通について

令和3年10月から西鉄バス北九州が本市の「車両の小型化による路線維持の補助制度」を利用して「東谷～徳力線」を新設、運行してくださっているが、利用者が採算ラインに届かず、増加の兆しも見えない中で運行継続が難しいとの意見があり、令和4年5月にはこのままでは路線廃止も視野に考えざるを得ない状況との報告を受けたが、次の公共交通計画をどのように考えているのか見解を伺う。

答弁 今年の5月から「お出かけ交通」の導入について地元の方々と、7月からは運行予定の交通事業者を交えて検討を続けている。これまで何度も協議を重ね、地元の意向を可能な限り反映し、更に利用しやすいように計画している。

3 終活について

これから単独高齢世帯が増えていくと思われるが、資産や収入の少ない身寄りのない独り身の高齢者の方に対して、市としてどのような終活支援をしているのか見解を伺う。またこれから支援をしていく計画があれば合わせて伺う。

答弁 市としても9月15日号の市政だよりに、終活をテーマとした特集記事を掲載し、広く市民への周知を行っている。身寄りのない単身高齢者へは来年度予定している「地域いきいき長寿プラン」のなかで議論していく。

2022年4月～12月のあしあと

（その他、市政相談、調査などを日常的に行っています）

4月
- 2日　JR労組意見交換会
- 10日　守恒本町町内会総会
- 14日　保健福祉委員会
- 22日　ジ・アウトレット内覧会
- 26日　スペースLABO（科学館）開館記念式典
- 28日　保健福祉委員会

5月
- 7日　立憲民主党研修会
- 12日　保健福祉委員会
- 18日　国際ソロプチミスト北九州一南定例会
- 23～24日　会派視察（東京・神奈川）
- 26日　保健福祉委員会
- 28日　守恒徳力音楽祭
- 31日　小倉南区議員協議会

6月
- 10～20日　本会議
- 22日　参議院議員選挙告示

7月
- 1日　小倉ロータリークラブ　例会
- 10日　参議院議員選挙投開票日
- 14日　保健福祉委員会
- 22日　会派視察（有薗製作所）
- 31日　下関北九州道路整備促進大会

8月
- 1日　政策支援事業
- 7日　わっしょい百万夏まつり（百万踊り）
- 9日　原爆慰霊祭
- 10日　保健福祉委員会
- 17日　話し方講座
- 25日　保健福祉委員会
- 26～31日　会派別勉強会

9月
- 2～10月4日　本会議

10月
- 8～9日　行橋～別府　100キロウォーク
- 11日　政策支援事業
- 13日　保健福祉委員会
- 15日　小倉城まつり
- 27日　保健福祉委員会
- 27日　ハートフル北九州政策要望
- 30日　紫川ふれあいクリーンキャンペーン

11月
- 3日　保育研修大会
- 10日　保健福祉委員会
- 12日　北方ひまわり学園落成式
- 13日　到津の森開園20周年記念式典
- 24日　保健福祉委員会

12月
- 7～15日　本会議
- 18日　北九州マイスター認定表彰式
- 22日　保健福祉委員会

森ゆみ子通信　議会質問が形になりました！

病気や高齢によって、尿漏れパッドやおむつを使用する人が、安心して外出が出来るように男性用トイレに「サニタリーボックス（汚物入れ）」が設置されました。区役所及び出張所に51か所、本庁及び議会棟に17か所設置されました。今後も各施設の状況に合わせて増えていきます。安心してお出かけが出来る環境を整え、満足度の高いまちづくりに取り組んでまいります。

ゆみ子の御用聞き

昔から酒屋さんなどが注文を聞いて回っていた『御用聞き』のように、皆様の日常のお困りごとやご意見など、伺って参りたいと思っております。ホームページ・Facebook・お電話などで、お気軽にご相談ください。

ホームページ　Facebook　電話する

moriyumiko.jp
www.facebook.com/morihiroakioffice/
093-964-6069（森ゆみ子事務所）

Profile　森ゆみ子プロフィール

- 神奈川県平塚市生まれ（昭和41年10月4日）
- 玉川大学文学部芸術学科美術専攻卒業（平成元年3月）
- 株式会社文化財保存計画協会入社（平成元年5月～）
- ホーチキ株式会社派遣勤務（平成3年8月～）
- 結婚（平成6年6月）
- 森とアメリカピッツバーグ市へ（平成7年5月～11月）
- 北九州市議会議員森浩明事務所勤務（平成9年2月～）
- 夫、森浩明 他界（令和元年10月15日）
- 北九州市議会議員1期目（令和3年2月）
- 市議会での会派はハートフル北九州
- 市議会での委員会は保健福祉委員会

【好きな食べ物】イチゴのショートケーキ・チョコレート
【好きな動物】猫・うさぎ
【趣味】茶道（表）・コーラス

このニュースレターは、市議会各会派に交付される政務活動費を用いて作成しています。